

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年2月7日

派遣決定番号

報告回次 2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	西米良村	代表者名	村長 黒木竜二		
担当者部署	むら創生課	連絡先電話番号	0983-36-1111		
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	中武敬一郎	連絡先E-mail	
住所	881-1411 宮崎県西米良村大字村所				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人
評価	大変よい

上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）
多くの支援実績と豊富な知識がある方で、本村の現状や課題についても深く理解いただき、今回も安心して相談できた。また、検討メンバーからの質問や相談に対しても分かりやすく、親切丁寧に回答いただける姿をみてメンバーも納得していた。何より多くの支援実績があり各市町村の現状と実績、課題点を把握しており心強く、今後も支援をいただきたいと感じた。

アドバイザーへの要望事項
・インターネット光回線調達についての助言
・本村の進むべき方向性の提案

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年1月31日	支援・助言（実地）	有	令和5年1月19日	519
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年1月27日	支援・助言（実地）	13時30分	16時00分	
				活動時間（分）	150
3-2. 派遣場所	会場名	西米良村役場 多目的室	最寄駅	湯前駅	
	所在地	宮崎県児湯郡西米良村大字村所15番地	最寄駅からの交通手段	村営バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	村インターネット光回線検討チームメンバー	7人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	本村のインターネット環境は、村の光ファイバケーブル（1GB）とプロバイダが調達したNTT系の光ファイバケーブル（200MB）を利用し独自の手法で運用している。インターネットに抜ける上位回線が小さいことから利用に影響を及ぼしている状況にある。この上位回線の使用料が高額であることから改善に至っていない。現在、今後の方針についてインターネット光回線検討チーム内で各業者からの提案について協議しており、進むべき方向性が見えてきたが、決断を迷っている状況。
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、大容量通信回線の調達を2025年度迄に、基準値200Mbから目標値を10Gbとしている。これは、議会や住民からの要望も強く、喫緊の課題であるため、今回の事業で助言をいただき、現段階での改善事業を令和5年度当初予算に計上したいと考えている。
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	現在、各事業者から提案された内容について、インターネット光回線検討チームで協議しているが決断を迷っている状況。内容は、①高度無線環境整備推進事業を活用した民設民営方式は、国庫補助や過疎債が充当されるが事業費が高額（約8億）である。②事業者Aが提案した1Gb帯域保証90万円/月を活用した運営で両方ともメリット・デメリットがある。今回、先生から次のことについて提案いただいた。本村は、インターネット以外にCATVやIP告知端末の今後の維持管理も課題となっている。今、早急にインターネットのみを改善しても中途半端になるので民間移行については、CATV

	やIP告知も一体的・総合的に時間をかけて検討した方が良い。①の案は、整備にも時間がかかる。近年は、②の案を実施することで費用も少なく早急に実行できる。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	インターネット光回線検討チーム内で協議をしている進むべき方向性について決断を迷っていたが、アドバイザーの提案内容により方向性が決定したように思える。 現在、要望している高度無線環境整備推進事業を活用した民設民営方式は、国庫補助や過疎債が充当されるが事業費が高額(約8億)であり、現在のインターネット加入数や本村の財政規模、その他の課題について精査した結果、今実施するべきでない。その他の課題とは、CATV・IP告知の設備で、インターネットと同様に今後検討を継続する。 ただ、インターネット環境は、本村の喫緊の課題であるため改善策として、今回の協議中に提案のあった事業者Aの光回線活用によるサービスを令和5年度より実施する。 運営の方法もこれまでと変わらないので早急に対応できる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値を200Mbから10Gbの達成は、今後インターネットやCATV・IP告知システムと一体として民間移行を検討する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 支援内容がインターネット光回線検討チームの協議会で助言や提案だったため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	大容量通信回線の調達を2023年度迄に、基準値200Mbから目標値を1Gbに改善。2026年度にインターネットやCATV、IP告知を一体的に考え民間移行を検討する。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



